

正誤表

第 1~4 刷

p59. 「舌が丸まり」 「舌が丸まらない」 → 「唇が丸まり」 「唇が丸まらない」

p27&p57. 「歯茎口蓋」 → 「歯茎硬口蓋」

p235. aleveolar → alveolar ("l"のあとに "e" が余計)

第 1~3 刷

p26 「英語の [ʃ] よりも少し前で発音されるとして」 → 「英語の [ʃ] と違い、歯茎・硬口蓋の両方で狭めが起こるとして」

p235 alveo-palatal => alveolo-palatal

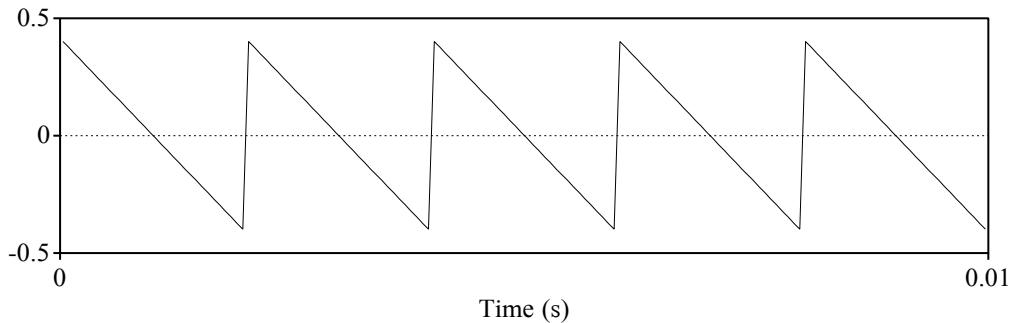
初版

P63. "pot" => "caught"

P63. "bird" => "sofa の a"

p109. "pressur" => "pressure"

p117. のこぎり波の向きが 119 ページのものと逆で分かりにくかったかも知れません。新しい図を下に示します。



p120. "振幅" => "音圧レベル" (もっと正確には、パワーですが本書ではパワーの概念に触れていませんので、音圧レベルで代替いたします。)

P193. "感受性難聴" => "感音性難聴"